

## 週報

# 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成28年												平成29年									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~8日	1月 ~15日	1月 ~22日	1月 ~29日	2月 ~5日	2月 ~12日	2月 ~19日	2月 ~26日	3月 ~5日	3月 ~12日
カンピロバクター	72	56	111	153	116	189	214	150	101	118	66	84	13	18	13	17	21	13	13	21	19	13
病原性大腸菌	140	146	163	167	150	157	240	182	166	227	180	147	21	30	29	27	36	24	26	19	27	27
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	12	4	2	8	12	4	19	21	12	16	4	6	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	23	20	25	14	19	32	14	24	23	27	8	15	2	2	0	2	4	1	2	4	4	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	11	11	16	21	20	27	24	19	19	18	14	20	4	4	5	3	5	5	5	4	4	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	3	3	1	9	10	9	4	2	2	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0
ロタウイルス	4	19	29	24	29	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
アデノウイルス	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	21	2	4	1	0	2	0	2	0	3	3

## 広島県感染症発生動向週報

平成29年第10週(3月6日~3月12日)

### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	7	結核	7	2		2		2	1		
三類	0	発生なし	0								
四類	0	発生なし	0								
五類全数	8	ウイルス性肝炎(A型, E型除く)	1				1				
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1							
		侵襲性肺炎球菌感染症	1							1	
		梅毒	2			1				1	
		麻疹	3		3						

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市  
 西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町  
 東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町  
 北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第10週 3/6~3/12)

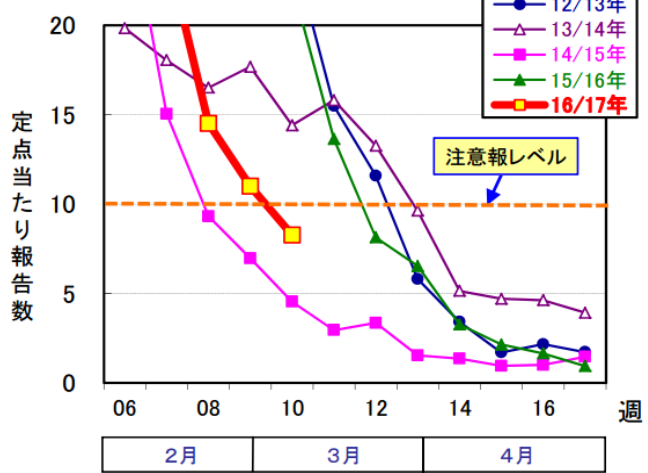
広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

定点当たり8.27人と、6週続けて減少し、注意報レベル(定点当たり10.0人)を下回りましたが、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が第10週に6件報告されており、引き続き注意が必要です。体調管理に注意し、手洗いの励行、咳エチケットなど感染予防対策を心がけましょう。

また、市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、A型陽性が109人、B型陽性が1人報告されています。なお、広島市衛生研究所による遺伝子検査の結果では、今シーズンは、A(H1N1)2009型が1件、A(H3)型が26件、B型(ビクトリア系統)が2件検出されています。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	306	8.27	14.57	◇	小児科	流行性耳下腺炎	5	0.21	0.80	
	咽頭結膜熱	18	0.75	0.22	▲	小児科	RSウイルス感染症	8	0.33	0.14	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	83	3.46	2.09	▲	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	93	3.88	10.08	◇	眼科	流行性角結膜炎	1	0.13	0.43	
	水痘	9	0.38	0.86		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	9	0.38	0.11			無菌性髄膜炎	-	-	0.09	
	伝染性紅斑	7	0.29	0.39			マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.32	
	突発性発しん	10	0.42	0.37			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.07			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.04							

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	30	男性(40歳代)・1人、女性(50歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性角結膜炎	結膜炎	32	男	2017/01/15	結膜擦過物	アデノウイルス54型
その他の疾患	発熱(38.3)	0	男	2017/02/01	糞便	エコーウイルス9型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載